

第4学年社会科学学習指導案

日 時 平成16年9月3日(金)校時
場 所 4年2組 教室
児 童 4年2組 32名
授業者 上野 昌子

1 単元名 「昔のくらしとまちづくり」

2 単元の目標

交通事故や事件などから人々の安全を守るため、関係の諸機関が相互に連絡を取り合いながら緊急に対処する体制をとっていることや、そこで働く人々の工夫・努力を考えることができるようにする。

交通事故を防ぐための施設や設備、警察署の仕事を見学したり調査したりして、人々の安全を守るための活動を具体的に調べることができるようにする。

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年4学年の内容、(4)「地域社会における災害及び事故から人々の安全を守る工夫について、関係の諸機関が相互に連絡を取り合いながら緊急に対処する体制をとっていることを見学をしたり調査したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々の工夫や努力を考えるようにする」を受けたものである。

事件や事故を防ぐための施設、組織、働く人、地域の人々の協力などを具体的に調べる活動を通して、私たちのくらしの安全を守るために、警察署などの関係諸機関が組織的・計画的に活動していることに気づかせることをねらいとしている。また、地域の一員である子どもたち一人一人に、安全な町づくりのために自分たちにできることを考えさせていくことで、自分も含めた地域の安全なくらしへの意識を高めていくこともねらいの一つとしている。

本単元で身につけるべき基礎・基本

関係の諸機関が相互に連絡を取り合いながら、災害や事故の防止に努めるとともに、緊急事態が発生した時には一刻を争って事態に対処していることを調べることができる。

交通事故の多い場所を取り上げ、なぜそこに多いのか考えることができる。また、どうしたらよいか考えることができる。

交通安全施設の様子を地図にまとめ、設置理由を考えることができる。

(2) 児童について

5月に実施した意識調査から、社会科の学習を「好き」または「どちらかというと好き」と答えた子どもは91%であった。好きな理由としては「見学や調査が楽しい、地図帳で県名や県庁所在地を探ることが好き」などがあげられている。

問題解決学習に関しては、課題に対して予想をたてたり、調べる方法を自分で選択したりする活動に意欲的に取り組む子がほとんどであり、調べ学習が好きである。反面、グラフや表などの資料の読み取りが苦手で、十分に課題解決ができない子や、調べたことを整理してまとめる活動が不十分な子もいる。

学び合いについては、自分で調べたことや考えたことをみんなに発表することはたいへんためになると思っていながらも、話し合いを深め、考えを深め合おうとするところまでは至っていない。発言する子がやや固定化している実態である。

事前に子どもたちに「警察署の仕事内容」について調査した。その結果「犯人の逮捕，交通違反を調べる，交通事故が起きたら出動，パトロール」と知ってはいるが，実際は道路での安全パトロール，事故現場でその姿を見かける程度であり，自分たちの身近な生活の中で，具体的にどのように仕事をしているかは意識していない。そこで，見学や調査をする活動を通し，事件や事故から人々の安全を守るために，関係機関が相互に連絡を取り合いながら緊急に対処する体制をとっていることを理解させたい。また，交通事故を防ぐ施設は，何のために設置されているのか，意味を考えさせながら様々なものがあることを理解させたい。

(3) 指導について

単元のつかむ過程では，身近で起きた交通事故の様子について話し合い，交通事故のないまちにするためのしくみや施設，人々のはたらきについて関心をもたせ，知りたい調べたいという意欲を高めていきたい。

しらべる過程では，意欲的に学習できるように，学校の周りの交通安全施設を調べさせる。その際，交通量が多く，標識や横断歩道，歩道橋などの安全施設がたくさん設置されている国道4号線沿いに焦点をあて，一斉に同じコースをたどって調べ学習を進めていきたい。調査後は，どこにどんな安全施設があったのか交通安全施設調べカードをもとに確認し合い，大きな地図にまとめていく。さらに，安全施設の役割やその場所に設置されている理由について考えグループで話し合いたい。話し合いが円滑に進むように，話し合いの手順を全体に提示したり，話し合いに参加するのが難しいと予想される児童に対しては，話しやすくさせるためのヒントカードを与えたりしたい。また，交通事故への対処，交通事故防止の取り組みについて，実際に警察署へ行き，見学や調査をさせたい。

まとめる過程では，安全なまちづくりについて，体の不自由な人，車を運転する人などいろいろな人の立場になって安全施設の意味や有効性を考えさせながら，それぞれの人の思いや願いを学習のまとめとして，交通安全レポートを作成する。その際，どういう立場にたってまとめていくのかを明確にしてから活動に入らせたい。

ひろげる過程では，学習のまとめとして作成した交通安全レポートを発表し合い，安全なまちづくりについての考えを深めさせたい。

評価については，各過程の指導において，単位時間ごとの評価表及び，座席表を活用して，児童の変容を捉え，個に応じた指導に生かしていきたい。また，単元を見通した自己ふりかえりカードを活用し，児童に見通しをもたせるとともに，意欲の継続を図るコメントの記入をしていきたい。

——学び合いについて——

一斉，ペア，グループでの学び合いの形態を臨機応変に取り入れ，調べたことを自分の考えとなる根拠をもとに発表させ，友達の考えのよさや違いについて気づく力を養っていききたい。

4 単元の指導・評価計画 (本時6時/7時間)

単 元	【単元の目標】 ・ 地域の人々の生活について、古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていた頃の暮らしの様子および地域に残る文化財や年中行事について調べ、地域の人々の願いについて考えることができるようにする。	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能表現	知識・理解
	・ 昔の道具、それらを使っていたころの暮らしの様子に関心をもち、道具や文化財、地域に残る年中行事について調べようとする。	・ 道具の移り変わりやより便利でより安全な道具ができた過程を調べ、人々の願いについて考えたり、暮らしがどう変わったのかを考えたりできる。	・ 道具調べを通してわかったことを絵カードに自分なりに工夫してまとめたり、今に残る史跡や資料からわかったことを年表や絵地図に整理することができる。	・ 人々の暮らしが変化してきていることや、人々がよりよい暮らしを願い、工夫や努力をしてきたことを理解したり、人々の暮らしが向上してきたことがわかる。	

過 程	単位時間ごとの計画			上段 評 価 規 準				支 援 計 画	
	小単元	時	目 標	学習内容・活動	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能・表現		知識・理解
つ か む	オリエンテーション ・問題を把握する。	1	・ 昔の人たちのくらしについての疑問点を話し合い、調べる意欲をもつことができる。	・ 金ヶ崎の昔の写真を見て、今と昔の写真を比べ、変わったところや変わらないところを調べる。 ・ 昔の人たちのくらしについての疑問点をグループで話し合う。	・ 昔の人たちのくらしについての疑問点を見つけ、調べる意欲をもとうとする。 昔の人たちのくらしについての疑問点を自分の生活と関連させながら見つけ、調べる意欲をもとうとする。 昔の人たちのくらしについての疑問点を見つけ、調べる意欲をもとうとする。 (行動観察)		・ 今と昔の写真を比べ、共通点や相違点を見つけている。 今と昔の写真を比べ、同じところや違うところを見つけ、疑問点を整理している。 今と昔の写真を比べ、同じところや違うところを見つけている。 (ノート、行動観察)		グループの友達の意見を参考にさせ、疑問をもたせる。 土地の使い方や、道路の様子はどうかなど視点を与える。
	・予想する。 ・調べる計画を立てる。	2	・ 整理した自分の疑問点の解決方法を見つけ、調べる計画を立てることができる。	・ 整理した自分の疑問点について予想を立てる。 ・ 予想したことをもとにグループで話し合う。 ・ 話し合ったことをもとに課題をつくる。	・ 調べる計画を立てることができる。 根拠のある予想や、見通しのある課題をたてようとしている。 予想し、課題をたてようとしている。 (行動観察・ノート)				疑問点はどんなだったかを確認し、結果の予想をたてさせる。
し ら べ る	(1) 昔の道具体験コーナー ・調べる	3 ~ 4	・ ふるさと伝承館を見学して、昔使われていた道具に関心をもち、調べることに、絵カードにまとめることができる。	・ ふるさと伝承館を見学して、展示されている昔の道具を調べるとともに、道具が使われていた時期を4つに分け、絵カードにまとめる。 ・ 昔の道具を実際に使いながら、道具の名前や使われていた時期、使った感想を絵カードに表す。 ・ 古い道具が使われていたころの暮らしの様子を、家の人やお年寄りにたずねて調べる。	・ 展示資料を調べたり、試したりしようとする。 また、調べた昔の様子を絵カードにかき表そうとする。 昔の道具に関心をもち、使ってみながら、その道具が使われていたころの暮らしの様子を調べようとする。 また、調べたことを絵カードにかき表そうとする。 昔の道具に関心をもち、使ってみたり、調べてみたいりしようとする。また、調べたことを絵カ		・ ふるさと伝承館を見学し、昔使われていた道具とそれを見た感想を絵カードに表す。 道具を絵カードにかき表し、使われていた時期を記入することとができるとともに、実際に使ってみた感想を詳しく記入することができる。 道具を絵カードにかき表し、使われた時期を記入することができる。 (絵カード)		昔の道具を実際に手にとって観察したり、使ってみたりすることができるようにする。 昔の道具を使ってみた感想を思い出させ、絵カードに記入させる。

				ードにかき表 うとする。 (行動観察・絵 カード)				
ま と め る		5	・道具を通して、昔の人々のくらしについて気付くことができるようにする。 ・祖父母の時代のくらしと今のくらしとを比べるとどんなところが違うか考える。		・古い道具が使われていたところのくらしの様子について考える。 ・今と昔の道具を比べ、昔のくらしの様子がわかり、それぞれの時代のくらしのよさについて考えることができる。 ・今と昔の道具を比べ、昔のくらしについて考えることができる。 (ノート・発表・行動観察)		手がかりとなる古い道具の写真や絵カードを提示し、使い方を確認し、今の道具の使い方と比較させる。	
		6 (本 時)	・道具の絵カードを古い順に並べるとともに、仕事や社会の様子についても調べて、それぞれの移り変わりを絵年表にまとめ、くらしの移り変わりについて考える。 ・これまで調べてきたカードを3つの時期に分類し、年表に貼付するとともに、仕事の欄を記入する。 ・仕事や社会の様子について、欄に記入する。 ・暮らしの移り変わりに関して考える。		・昔から現在までのくらしの変化について考える。 ・道具を3つの時期に分類するとともに、その道具が使われていた頃の暮らしと関連づけて考えることができる。 ・道具を比較しながら、古い順に3つの時期に分類することができる。 (行動観察・ノート)		用途が同じ道具の、どこがどのように違っているかを具体的に示しながら考えるようにする。	
ひ ら げ る	(2)ま ちに伝わ る昔コー ナー ・ひろげ る	7	・地域に残る古い建物や記念碑、行事などを調べ、人々の生活の変化や人々の願いについて考える。 ・地域のお祭りの由来を調べ、地域の人たちの願いに関心をもつ。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などを調べ、昔の人はどんな願いをもっていたのかを考える。 ・調べたことをパネルにして多くの人たちに見てもらおう計画をたてる。		・地域に残る古い建物や記念碑、行事などについて考えることができる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などをもとに昔の人々の暮らしぶりや願いについて考えることができる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などの由来を考えることができる。 (発表・ノート)		・地域に残る古い建物や記念碑、行事などについて理解できる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などから、昔の人々の暮らしぶりや願いがわかる。 ・地域に残る古い建物や記念碑、行事などがわかる。 (発表・ノート)	古い建物や記念碑、行事などの由来が書かれた、読み取りやすい資料を提示する。 ・実際に地域を歩いて調べられるようにする。

5 本時の指導

(1) 目標

安全施設のそれぞれの役割やその場所に設置されているわけについて考え、グループで話し合うことができる。

(2) 評価規準・具体的評価規準

具体的評価規準	具体的評価規準	
	十分満足できる状況	おおむね満足できる状況
【思考・判断】 安全施設がその場所に設置されている理由について考える。	安全施設が設置されている理由をその場所の状況と関連づけて考えている。	安全施設が設置されている理由について考えている。

(3) 本時の展開

過程	学習内容・活動	指導上の留意点	評価と支援
つかむ	1 前時の学習をふり返る。 ・学校近くにある安全施設を調べ、地図にまとめたことをふり返る。 2 学習課題を設定する。	・道路標識，横断歩道，歩道橋，信号などはどこにあったかふり返らせる。 安全施設についてまとめた大地図 安全施設の写真	・見通しのよくない場所，交通量の多い場所はどこかをおさえる。 ・
10分	交通事故を防ぐために，安全施設がどのように役立っているか考えよう。		
しるべ	3 安全施設の役割やその場所にある理由について考える。 (個人) ・歩道橋 ・交通安全のスローガン ・横断歩道 ・中央分離帯の反射材	・もしその安全施設がなかったらどうなるのかにもふれて考えさせる。	【思考・判断】 安全施設がその場所に設置されている理由について考える。 (ノート，行動観察) 安全施設が設置されている理由をその場所の状況と関連づけて考えている。
30分	4 安全施設がその場所にある理由について，グループで話し合う。 司会者を決める。 いくつ書いたかを確認 少ない人から発表 質問・意見コーナー グループの意見をまとめる。 全体で発表	・話し合いの手順を確認し，円滑に話し合い活動ができるようにさせる。 「話し合いの手順」を提示する。 ・話し合いに参加するのが難しいと予想される児童に対しては，話しやすくさせるためのヒントカードを与える。 ヒントカード	安全施設が設置されている理由について考えている。 安全施設の役割は何か，考えさせる。

し ら べ る 30 分	<p>5 グループで話し合い，まとめたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4号線は交通量が多いから道路を安全に横断するために歩道橋がある。 ・ スローガンは，運転手から見やすいように高いところにはってある。安全を呼びかけている。 ・ 横断歩道は，事故の起こりやすい場所につくられている。 ・ 反射材は，夜，運転者が見やすくするため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの考えと，他のグループの発表の相違点を意識させながら聞くように促す。 ・ グループの発表の後，金ヶ崎交番の警察官の話を聞かせ，自分たちの考えがどうだったかを検証させる。金ヶ崎交番の警察官の話（ビデオまたは音声） 	
ま と め る 5 分	<p>6 学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふりかえりカードに記入をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び合いの場面などで，友達の考えで参考になったことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学びをふりかえらせ，次時への意欲をもたせていく。

(4) 板書計画

<p>課題</p> <p>安全施設が交通事故を防ぐために，どのように役立っているか考えよう。</p>	<p>歩道橋写真</p>	<p>スローガン</p>
<p><話し合いの手順></p> <p>司会者を決める。</p> <p>いくつ書いたかを確認</p> <p>少ない人から発表</p> <p>質問・意見コーナー</p> <p>グループの意見をまとめる。</p> <p>全体で発表</p>	<p>交通量の多いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に横断できる 	<p>運転者が見やすいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全を呼びかけている
	<p>横断歩道</p>	<p>反射材</p>
	<p>事故が起こりやすいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に横断できる ・ 車が止まってくれる 	<p>段差があるところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分離帯にぶつからない